

徒然草

3

1

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

高名かうみやうの木登り①と言ひしをのこ、人をおきてて、高き木に登せてこずゑを切らせしに、いと危あやふく見えしほどは言ふこともなくて、降Aるる時に、軒丈のきたけばかりになりて、

「過あやちすな。心して降りよ。」

と言葉Bをかけはべりしを、

「かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。いかにかく言ふぞ。」

と申しはべりしかば、

「そのことに候まうふ。目くるめき、枝危えだあやふきほどは、己おのれが恐れはべれば申さず。過あやちは、やすきところになりて、必ずつかまつることに候まうふ。」

と言ふ。

あやしき下臆げおそなれども、聖人の戒めにななへり。鞠まりも、難かたきところを蹴けい出して後、やすく思へば必ず落つとはべるやらん。

(第一〇九段)

(1) — ①を、現代仮名遣いに直して、すべて平仮名で答えなさい。

〔 〕

(2) || AとCは、だれの動作ですか。適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 高名の木登り
- イ 木に登ってこずゑを切っていた人
- ウ 作者(吉田兼好)

A 〔 〕 B 〔 〕 C 〔 〕

(3) — ②とありますが、この言葉が具体的に指す内容を古文中から五字で書き抜きなさい。
※句読点や符号も一字と数えます。

(4) — ③とは、だれのことですか。古文中から書き抜きなさい。

〔 〕

組	番	名前
---	---	----

かかった時間	正解数
分	

1

- (1) いっしおのこ
- (2) A イ B ア C ウ
- (3) 軒丈ばかり
- (4) 高名の木登り (と言ひしをのこ)

間違った問題を確認してみよう！

1

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

高名の木登り^①と言ひしをのこ、人をおきて、高き木に登せてこずゑを切らせしに、いと危^{あや}ふく見えしほどは言ふこともなくて、降るる時に、軒丈ばかりになりて、

「過^{あま}ちすな。心して降りよ。」

と言葉をかけはべりしを、

「かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。いかにかく言ふぞ。」

と申しはべりしかば、

「そのことに候ふ。目くるめき、枝危^{あや}ふきほどは、己が恐れはべれば申さず。過ちは、やすきところになりて、必ずつかまつることに候ふ。」

と言ふ。

あやしき下臍^{げら}なれども、聖人の戒めにかなへり。鞠^{まり}も、難^{かた}きところを蹴^{けい}出して後、やすく思へば必ず落つとはべるやらん。

(第一〇九段)

(1) ①を、現代仮名遣いに直して、すべて平仮名で答えなさい。

[]

(2) A～Cは、だれの動作ですか。適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- A 高名の木登り
- イ 木に登ってこずゑを切っていた人
- ウ 作者 (吉田兼好)

A () B () C ()

(3) ②とありますが、この言葉が具体的に指す内容を古文中から五字で書き抜きなさい。
※句読点や符号も一字と数えます。

(4) ③とは、だれのことですか。古文中から書き抜きなさい。

[]